

## 施工業者様用

### 〈施工説明書〉

# 無垢フローリング ナチュラルオイルフィニッシュ仕上げ

## 非床暖房対応 捨て張り工法用

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023  
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル  
**0120-813-331**

[受付時間] 平日8:30~17:00

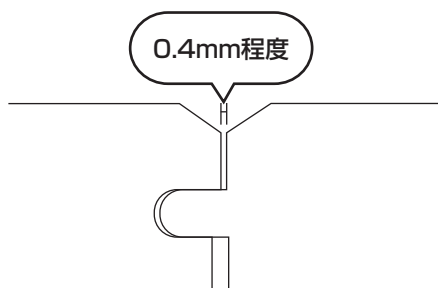
[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

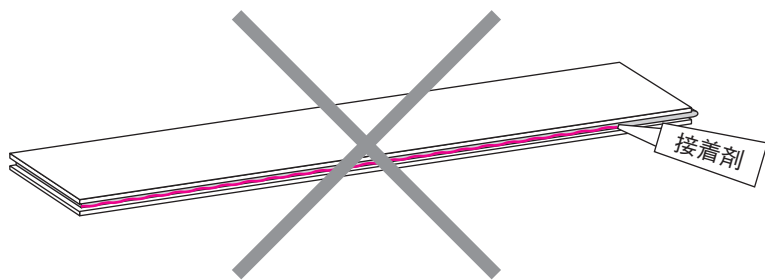
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

### 1. 床張り施工の注意点



同梱のスキマゲージを使用して  
サネ同士の接続部分に0.4mm程度の  
隙間を設けてください。

### 2. 長辺サネ接続部分への接着剤塗布の禁止



長辺サネ接続部分に接着剤を塗布すると、膨張、収縮により床材の割れなどが生じるおそれがあります。

### 3. 必ず指定接着剤・釘の併用施工をおこなってください。

### 4. 養生テープを直接貼ることは厳禁です。

養生テープ等をフローアに直接貼りますと表面基材のはがれが発生する恐れがあります。段ボール、ベニヤまたは養生カバー等で床に直接養生テープを貼らないように隙間なくカバーし養生して下さい。

**施工終了後のお願い** ※美装業者様に必ずお渡しください。

- フローリング表面に、水や洗剤を撒き散らさないでください。変色や、床の変形(膨れ)の原因になります。
- 市販の一般床材用樹脂ワックス・油性ワックスなどをご使用ならないでください。

# 安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために  
**必ずお守りください**



**注意** 施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

 禁止	<p><b>・屋内専用。</b> 屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。</p> <p><b>・油性・水性ワックスの使用禁止。</b> 市販の一般床材用樹脂ワックス・油性ワックスなどはご使用ならないでください。</p> <p><b>・ピアノ・大型冷蔵庫等重量物の直置き禁止。</b> 床材が破壊するおそれがありますので必ず補強対策をし、インシュレーター等を使用してください。</p> <p><b>・養生テープを直接貼ることは厳禁。</b> 養生テープ等をフローアに直接貼りますと表面基材のはがれが発生する恐れがあります。</p>	<p><b>・天然オイルは水分厳禁。</b> お手入れする際などに、水を塗布するなどしないでください。毛羽立ち、白化、シミ等の原因となるおそれがあります。堅くしぼった雑巾等をお使いください。</p> <p><b>・長辺サネ接続部分への接着剤の使用禁止。</b> 長辺サネ接続部分には接着剤の塗布は絶対に行わないでください。</p> <p><b>・根太上の直接施工の禁止。</b> 直接根太上に施工すると強度不足のため床材が破損することがありますので、必ず根太上に厚さ12mm以上の合板を捨て張りしてください。</p>
 必ずおこなう	<p><b>・床下換気口の設置。</b> 湿気がこもると床材が腐朽する原因となります。</p> <p><b>・床下収納庫への使用時の補強。</b> 床下収納庫の天板に直接フローアを使用することはできません。必ず補強を行ってください。</p>	<p><b>・開梱後は換気を行なう。</b> 本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。</p>
<b>注意!</b>	<p><b>・フロアコーティングは推奨していません。</b> 推奨ワックスをご使用ください。 (フロアコーティングは、はがれ・床鳴り等の不具合を発生させることがあります。)</p>	

## 1 施工の前に確認してください。

### ① 開梱

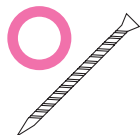
梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。  
当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。  
また開梱後は速やかに施工してください。

### ② フローアの仮並べ

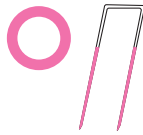
フローアの表面には天然木を使用しているため、色や木目・溝部分に多少の違いが出る場合があります。施工前に全部の梱包を開いて色合わせをしてください。  
極端な不具合などがありましたら、施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。  
施工後のお申し出には応じかねます。

### ③ 工具の準備

#### ■釘仕様



フローアネイル  
38mm以上



接着剤付きフローア用  
ステーブル38mm以上

※石膏ボードを下地に使用する場合は石膏ボードの下に厚さ12mm以上の下地合板を施工し、下地合板まで届く長さの接着剤付きフローア用ステーブル(足長48mm以上)、またはフローアネイル(長さ48mm以上)をご使用ください。



フィニッシュネイル(針釘)  
ブラッドネイル(針釘)

※フィニッシュネイル・ブラッドネイル(針釘)や通常の釘類は使用しないでください。

#### ■指定接着剤

メーカー	品番	接着剤タイプ
ウッドワン	捨て張り/根太工法用接着剤 ZX0223 (床暖房・非床暖房共用)	ウレタン系一液接着剤

その他推奨指定接着剤

メーカー	品番	接着剤タイプ
(株)セメダイン	(フロアロック110)	一液型変成シリコン樹脂系接着剤
コニシ(株)	(ボントKU928C-X) (PX280)	ウレタン系一液接着剤 変成シリコン樹脂系接着剤
(株)オーシカ	(セレクトイMS-330)	変成シリコン樹脂
(株)日本アクア	(アクアタイト)	一成分形変成シリコン系弾性接着剤
積水フーラー(株)	(床根太・床仕上げ接着剤#55-S)	変成シリコンポリマー

※上記の接着剤からお選びください。

※酢酸ビニル系(白ボンド)・アクリル系エマルジョンなどの水性系接着剤は使用しないでください。

## 2 施工手順

### ① 下地の確認(施工)

#### (1) 十分な乾燥の後、施工する

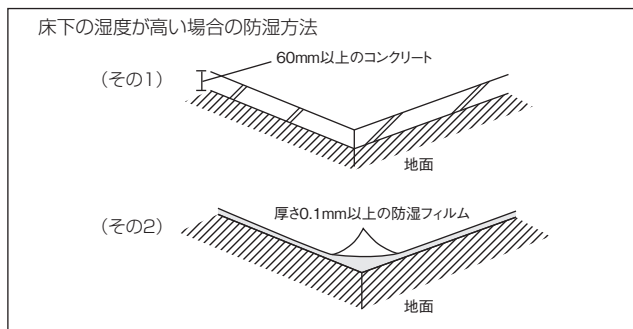
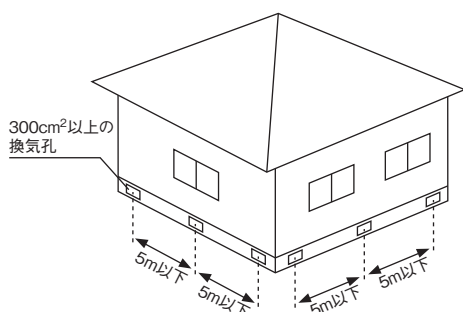
捨て張り施工の場合や、RC構造などの床下が完全防水の場合、下地材・根太・床下等がひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。床下地や床下が雨で濡れると乾燥するまでに時間を要します。**屋根工事が終わるまではビニールシート等で濡れないように保護してください。**

#### (2) 防湿のために風通しをよくする

床下換気口の位置と数は建築基準法に従ってください。

(外壁の床下部に壁長さ5m以下毎に、300cm<sup>2</sup>以上の換気孔設置)床下の湿度が特に高い場合は、地盤全面に厚さ60mm以上のコンクリートの打設、または厚さ0.1mm以上の防湿フィルムを全面に敷きつめる等の防湿処理をおこなってください。

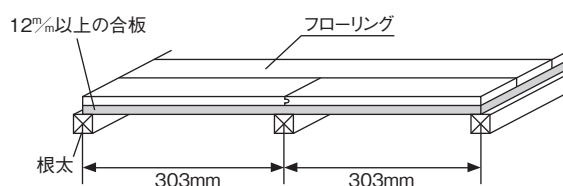
一般住宅 換気孔の適正配置(参考)



#### (3) 根太施工

根太には反り、ねじれの無いプレーナーがけした45mm角以上の乾燥材(含水率14%程度)を使用してください。

**根太間隔は303mmピッチとしてください。**



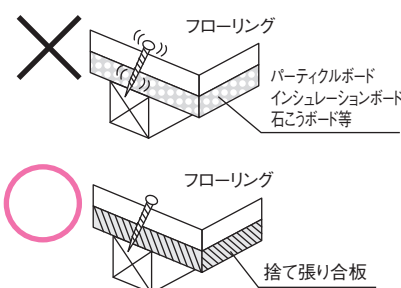
#### (4) 捨て張り合板

捨て張り合板専用の床材ですので、直接根太上に施工すると強度不足のため破損することがあります。

根太の上には下地合板として**厚さ12mm以上、含水率14%以下**のものを使用してください。

※下地にはパーティクルボードや石膏ボードは使用しないでください。

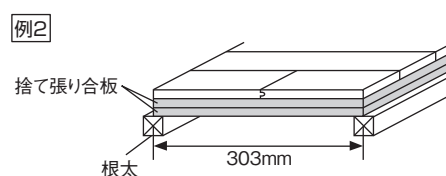
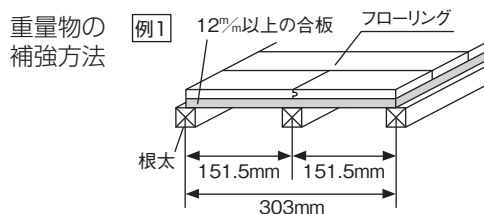
床下(コンクリート)等はコンクリート含水計で含水率10%以下であることを確認し、施工をおこなってください。含水率が高いと接着不良やフロアーの反り、突き上げ、変色、カビなどが発生するおそれがあります。**また根太と合板は接着剤・釘併用施工としてください。**捨て張り合板は突きつけて施工せず、2mm程度継ぎ目をあけてください。その際、捨て張り合板の接合部の段差ができないように注意してください。



#### (5) 重量物設置の場合の補強処理

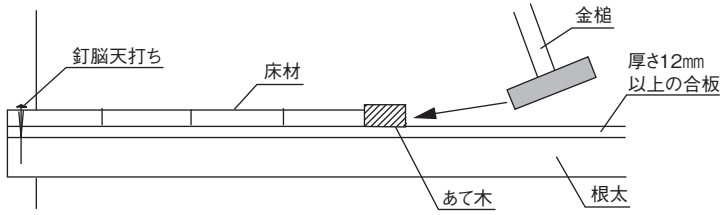
重量物を設置する場合には根太間隔を151.5mmにする(例1)か、12mm以上の下地合板を2重に捨て張りして(例2)補強してください。

※発熱パネルの耐荷重についてはパネルメーカーにお問い合わせください。

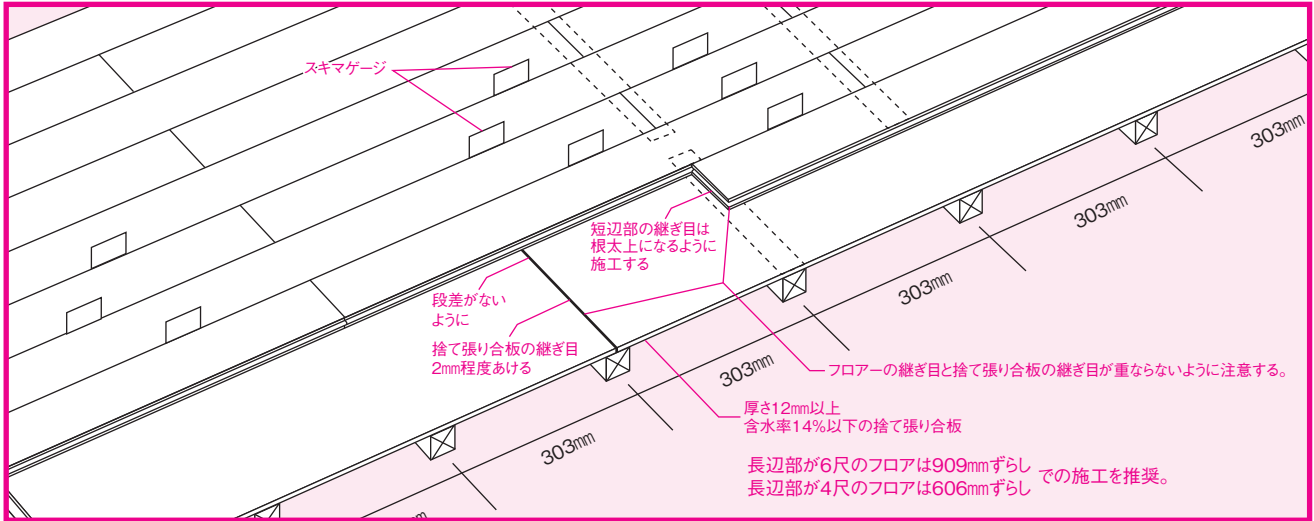


## ② フロアの割り付け

- フロアの短辺部のサネ接続は根太上になるようフロアの割り付けをおこなってください。
- フロアは根太と直交するように施工してください。
- ※捨て張り合板の継ぎ目とフロアの継ぎ目が重ならないように注意してください。



図のように端部の床材は、釘を脳天打ちで完全に固定してから行ってください。張り施工に際しては、床材の端材等を当て木として使用し、サネを直接金槌で打撃しないでください。



無垢フローリングは吸湿による膨張が大きいのでサネ同士のジョイント部はスキマゲージまたは名刺等を用い0.4mm程度の隙間を設けてください。又、木口のジョイント部もきつく締めつけしないで緩めに施工してください。(スキマゲージが同梱されています。)

## ③ 接着剤の塗布方法

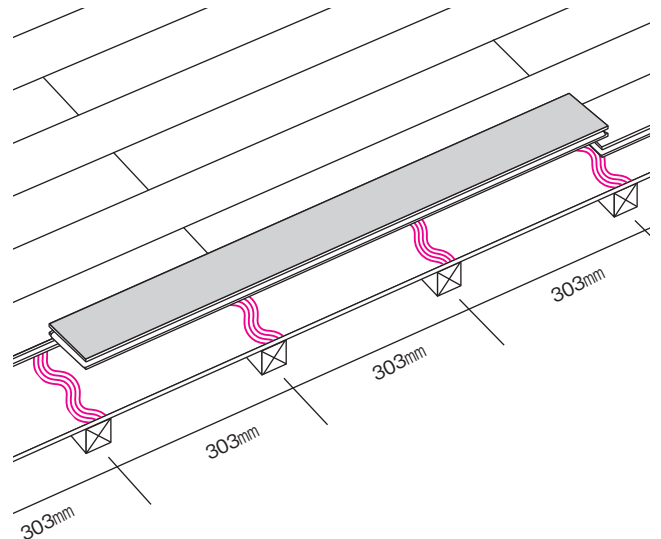
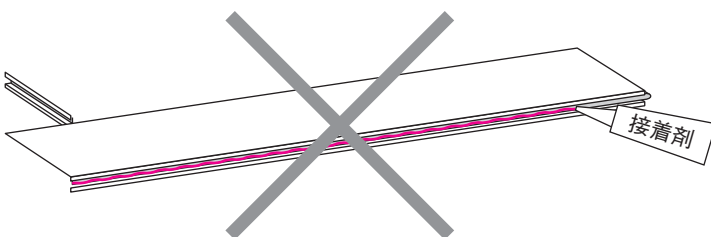
- ①弊社指定の接着剤を根太上に303mm間隔で塗布してください。
- ②短辺接続部分は両方のフロア裏面に充分付着するように塗布してください。
  - ※接着剤カートリッジのノズル1口タイプの場合、短辺接続部分には両方のフロア裏面に充分付着するように2列に塗布してください。(接着剤の太さ約8mm/本が目安。塗布量:約150g/m<sup>2</sup>)
  - ※接着剤カートリッジのノズル4口タイプの場合、短辺接続部分には両方のフロア裏面に充分付着するように塗布してください。(接着剤の太さ約4mm/本が目安。塗布量:約150g/m<sup>2</sup>)

塗布量が8mm/本になるようにノズルの先端をカットしてください。

### ⚠ 注意

接着剤がフロアの表面に付着した場合は、乾いた布や、シンナー・アルコールを染みこませた布ですばやく拭き取ってください。接着剤が硬化すると取れなくなります。また、水拭きだと接着剤が表面に残り、ムラや汚れの原因となるおそれがあります。

長辺サネ接続部分へは接着剤を塗布しないでください。



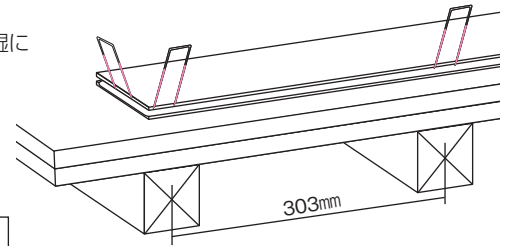
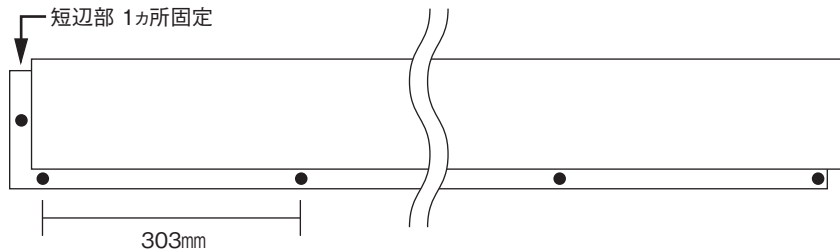
根太専用ボンド  
※根太専用ボンドを短辺接続部分に塗布する際、両方のフロアに接着剤が付くように注意してください。サネ接続部にはボンドを塗布しないでください

### ⚠ 注意

サネ接続部分にボンドを塗布すると、膨張・収縮により床材の割れなどが生じるおそれがあります。

## ④ 釘打ち

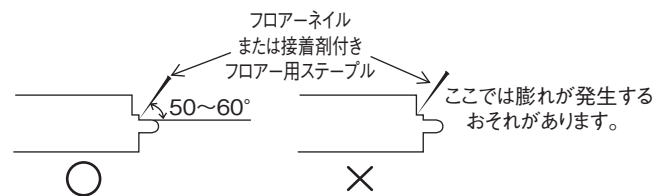
フローアの長辺方向303mmピッチ、短辺方向(エンドマッチ部) 1カ所、弊社指定の接着剤付きフローア用ステープルもしくは、フローアネイルを根太上に打ち込んでください。下地への固定はしっかりと行ってください。無垢フローリングは合板突板フローアより吸放湿による寸法変化が大きく生じます。下地に対して推奨する釘と接着剤でしっかりと固定してください。しっかりと固定することにより、寸法変化を小さく抑えることができます。



### ⚠ 注意

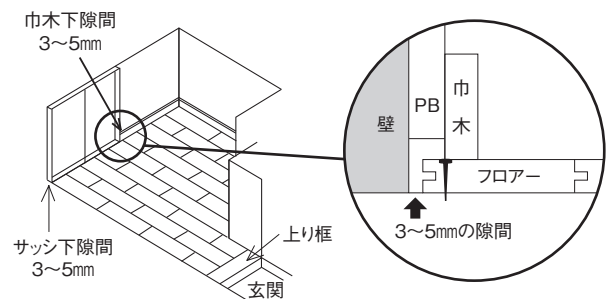
釘(接着剤付きフローア用ステープルもしくはフローアネイル)打ち込み時、釘の頭がフローアにめり込まないように適正なエア圧を設定してください。釘の頭がめり込んだ場合、適正な釘保持力が確保できません。

※釘打ち角度は50°~60°で打ち込んでください。これ以外では釘頭が基材を持ち上げ膨れが発生してしまうおそれがありますので特に注意してください。

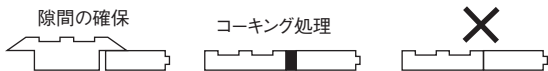


※フローア周辺の壁際およびサッシ下などには必ず3~5mmの隙間をあげてください。また端部の床材は脳天から釘打ちし、完全に固定させてください。

### 施工例



※周辺部の納めは必ず隙間を設けるか、コーキング処理してください。吸湿時にフローリングが膨張して不具合が生じるおそれがあります。

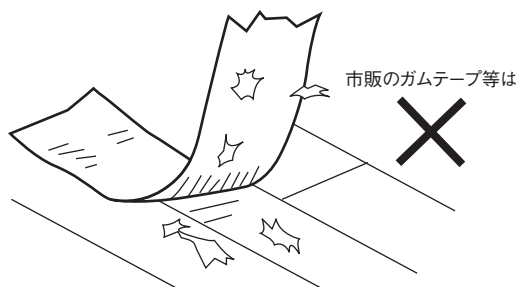


## ⑤ 梅雨時期の湿度対策

●施工現場にて開梱後は速やかに、施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

## ⑥ 養生

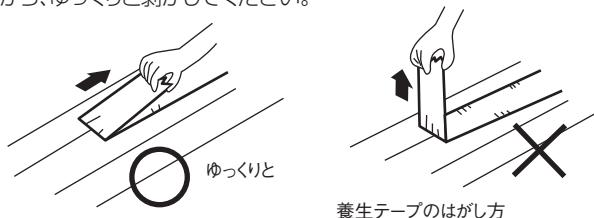
- フローア施工後、接着剤が硬化するまではフローアが動かないよう適性に養生してください。(養生期間:1週間程度)
- 施工後は、木屑や砂、ごみをきれいに取り除いて段ボール、ベニヤまたは養生カバー等で隙間なくカバーしてください。なお、養生に使う段ボールや、ボードは濡れていないことを確認するとともに、濡れないような配慮をお願いします。
- 本商品はナチュラルオイルフィニッシュ仕上げとなっており、その特徴として自然由来の塗装成分による塗膜形成をしないナチュラル仕上げが特徴です。その為、市販のガムテープや粘着力の強い養生テープをご使用になりますと、表面基材のはがれの原因になりますので、別売のナチュラルオイルフィニッシュ用養生テープ(ZY0215)をご使用ください。



### ⚠ 注意

養生期間中、絶対に暖房機器の使用は避けて下さい。フローアのネサ接続部の隙間発生などの原因となるおそれがあります。  
ナチュラルオイルフィニッシュ仕上げは床の表面を樹脂塗膜でコーティングしないため、表面にテープを貼ると、剥がす際にその粘着力によって、部分的に表面基材の一部が破損することがあります。床材に直接テープを貼る箇所については、粘着力が弱い別売のナチュラルオイルフィニッシュ用養生テープ(ZY0215)を必ずご使用ください。

- 養生テープを取り除く際は、テープを床面と垂直にしながらかきあげると、表面基材の剥離をおこすおそれがありますので、テープを床面と平行にしながらかきあげてください。



### ⚠ 注意

フローア施工後、接着剤が硬化するまで(1週間以上)、絶対に暖房機器の使用は避けてください。フローアのサネ接続部の隙間発生などの原因となるおそれがあります。